

令和7年度 学校経営方針

高山市立本郷小学校

市の方針と重点

<方針>

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
持続可能な社会の創り手の育成

<重点>

自分らしく一歩踏み出しのり越え
挑戦し続ける子
プレゼン教育、キャリア教育、ICT教育
郷土教育、命の教育
ウェルビーイングの向上

学校の教育目標

ふるさとを愛する
心豊かな たくましい子

考え話す子
助け合いやり抜く子
やさしく元気な子

学校課題

- ・受け身でなく、自分で考え、動き出し、結果に責任をもつ
- ・学びを自分とつなげて考え、発信する
- ・固定化された見方を打破し、多様なものの見方ができる
- ・小規模校の強みを生かした学校経営を推進する（ICT活用）

【育てたい資質・能力】対話を通して自分の考えをつくり 動き出す力

楽しい学校・力をつける学校・多様性が認められる学校

学習：対話を通して、
自分の考えを深め広げる

- 主体的・対話的で深い学び
 - ・切実感のある学習課題
 - ・対話から議論
納得いくまで対話させる
 - ・1時間の児童の対話時間 50%以上
- 個別最適な学び 協働的な学び
 - ・追究方法を選択できる複線化
 - ・効果的なICT活用、図書、資料等の整備
- 創造力を高める
 - ・ホンモノに触れさせる
 - ・新しいことに挑戦する
- まちづくりへ参画する

キーワード

1期	めざす
2期	動き出す
3期	やり切る
4期	高める
5期	認め合う

生活：対話を通して、
自分・学級・学校を高める

- キャリア教育（なりたい自分）
 - ・なりたい自分を常に意識させる
 - ・自分のよさを知り、挑戦させる
- 自治力を高める
 - ・自分たちで考えさせる（児童会活動等）
 - ・縦割り活動（なかよしDAY）
 - ・全校での認め合い活動（全校集会）
- 安心・安全な学校づくり
 - ・居場所づくり（学級 縦割りグループ）
 - ・心のアンケート マイサポーターの充実
- 多様性と個性の理解
 - ・一人一人の価値観が違うことを理解し、認め合える学校であること

地域とともにある学校

- 保小中の連携を図り、つながりのある教育活動を推進する（学校運営協議会 北稜校区連携会議）
 - 多様な考えにふれる交流を積極的に行う（栃尾小との交流 海の子山の子交流 地域講師）
 - 持続可能なふるさと教育を推進する（自然 産業 文化 人 はちの子会発表等）
- 4つの柱：ふるさとを知る活動、人の生き様に触れる活動
ふるさとに貢献する活動、まちづくりに参画する活動

本郷小職員としての構え

- ・子ども、保護者、地域の方の心に思いを馳せる
- ・常に危機感をもつ（いじめ未然防止・教育相談・ケース会議→組織で対応、指導・支援の共通理解等）
- ・子どもの主体性を育む指導・支援に徹する（任せる・ゆだねる）→自己決定できる力
3つの合言葉：「どうしたの？」「どうしたいの？」「何に困っているの？」
- ・一人一人が力をつける（授業公開 日常的なICT活用交流）
- ・教師自身がワクワクする活動を生み出す
- ・職員一人一人が自分の理想とする勤務スタイルをつくる（時間外勤務45時間以内）